

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 27日から28日にかけて、低気圧が日本の東を北東に進み、別の低気圧が本州南岸付近を東に進む。
- 3月1日は、中国東北区の高気圧が日本付近に張り出す。
- 2日から3日にかけて、低気圧が東シナ海から本州南岸付近に進む。

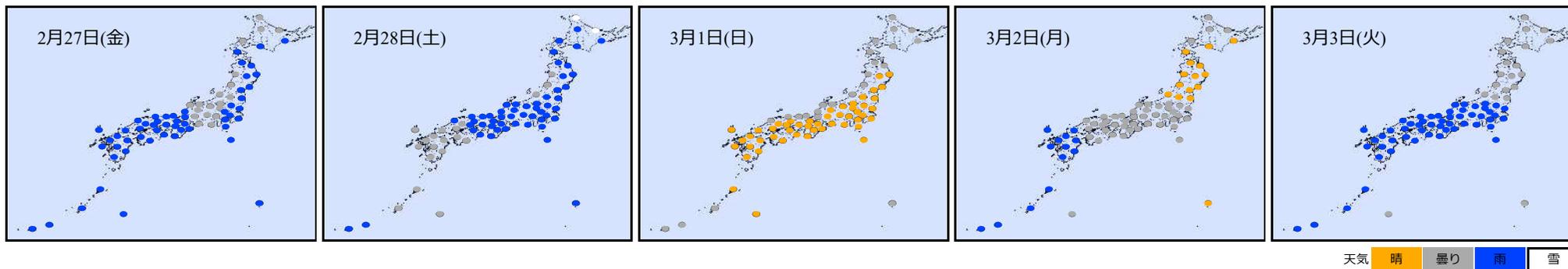
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

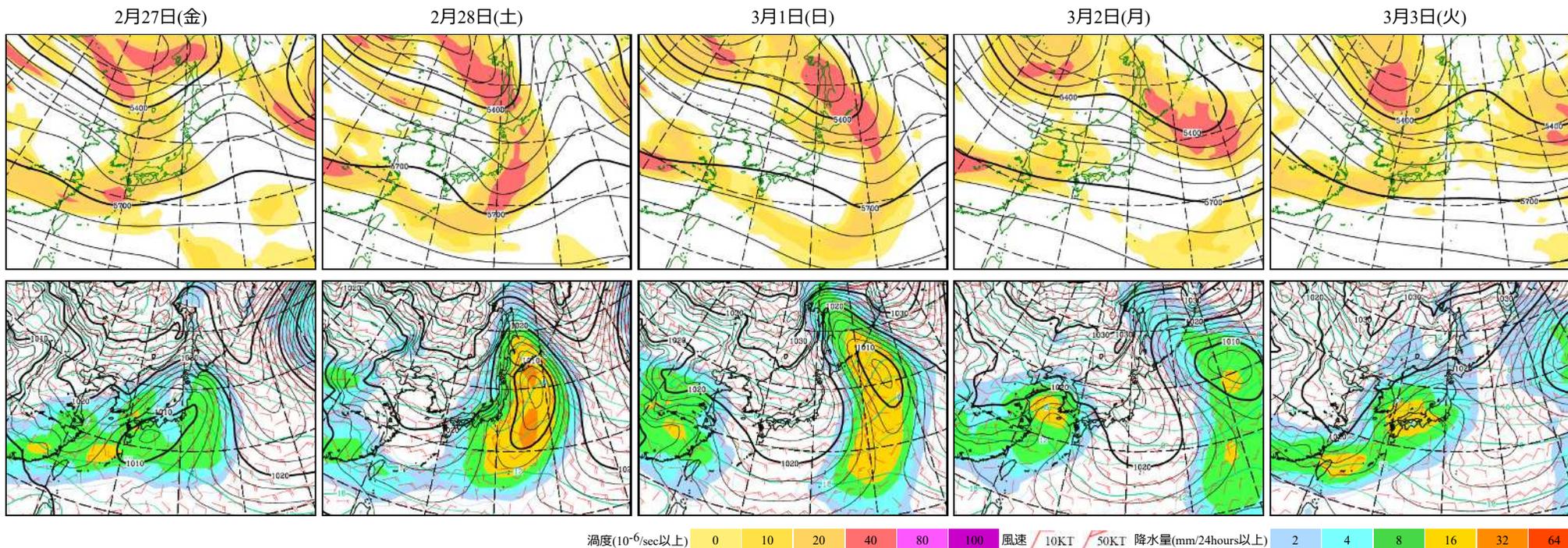
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

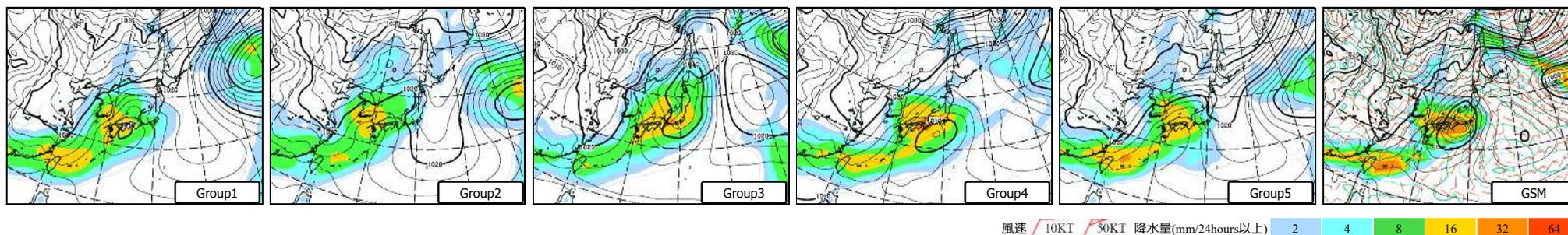


- 北日本は、曇りや雨または雪の降る日が多いが、3月1日と2日は晴れる所がある。
- 東日本と西日本は、曇りや雨の降る日が多いが、1日は晴れる所がある。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆3月3日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、28日までは初期値変わりは小さい。3月1日の千島近海のトラフが深くなった。地上の気圧配置は、28日の三陸沖の低気圧がやや発達する傾向になった。
- 各モデルともに、28日から1日にかけて千島近海に進むトラフに初期値変わりがあるが、モデル間の差は小さい。
- 3日に日本付近に進む低気圧の位置は、GSMとNCEPは東海沖、ECMは東シナ海に予想している。ENSは、GSMやNCEPに近いメンバーが多く、ECMに近いメンバーはほとんどない。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。